

“講演会「命の大切さについて」の感想④” 柏市補導センター 上條先生

『今回の講演を聞いて、改めて SNS の便利さと危険性を学ぶことができました。使い方には十分気をつけて使っていきたいです。そして、あまり身近ではない薬物の色々なことを知って、知らなかったことを知れることができたので良かったです。煙草の話で、家の人が吸っていると子どもにも影響があるということを知って、それで自分の体調が悪くなったら嫌だなと思いました。煙草を吸い慣れてくると、大麻も何とも思わず吸ってしまう小学生、中学生、高校生がいるということは怖いなと思いました。今は SNS にあがっている写真からたくさんの情報を特定することができるので、それをちゃんと理解して、意識して過ごしたいです。やり取りの中でも、一度送信したものは残り続けるので、誤解を招いたりしないように気をつけたいです。』(2 組)

『今回、上條先生の講演を聞いて「命の大切さ」について改めて知ることができました。薬物の話では、煙草は薬物の入り口ということや、薬物には恐ろしい効果(目が悪くなるなど)があり、インターネットのスマートフォンでは、使い方によると人を傷つけてしまったり、また人を慰めてあげたりすることが分かりました。自分は、たまに本当に辛い時に自分って何だろうと悲しくなる時があります。でも、講演の人権についての話を聞いて、自分でも生きていても良いんだなと思えることができました。薬物では前にたくさんの人が捕まっているのをニュースや新聞でよく見ていました。まさかこの人がやっていたのかと思う人が多いような気がします。でも、そんな有名な人が簡単にできてしまう薬物乱用なので、僕たちにも簡単にできてしまうのかなと思いました。なので、学校で友達や先輩に誘われたらすぐに逃げたりして、薬物を使わないように注意していきたいと思います。インターネットでは、今日聞いた女人をニュースで見えて、とても悲しくてかわいそうだなと思っていました。でも、そんな自分でも誰かを知らぬ間に痛みつけているかもしれないと思い、少し不安になりました。もしかしたら痛みつける側の立場ではなく、痛みつけられる側になる時があるかもしれません。そんな時には一人で悩みこまず、多くの信頼している人たちに助けを求めて、一步步立ち直っていきたいと思います。今日の講演で、上條先生の薬物をしてはいけないこと、インターネットの使い方について考えてほしいことを教えたいという熱が聞いていて感じられました。その感じた熱をこれからの生活に活かされないと上條先生に申し訳ないので、教えてもらったことを一つ一つ頭の中に入れ、活かしていきます。生きることや薬物、インターネットなどで悩んだ時には相談してみたいので、その時はよろしくお願いします。今日の 1 時間だけでたくさんを知ることができました。ありがとうございました。』

(5 組)

よのなかルール 23 <「メシを食える大人になる！よのなかルールブック」高濱正伸監修>

「起きる時刻を決める、守る。」

よい習慣は、自分を正すリズムになる。
大人になっても役に立つよ。

